

# 健康日和

やわたメディカルセンター

あなたの健康が私たちの願いです。

けんこうびり 2011 OCTOBER Vol.20  
 発行/やわたメディカルセンター  
 石川県小松市八幡イ12番地7 〒923-8551  
 電話(0761)47-1212(代) FAX(0761)47-1941  
 E-mail:hosp@katsuki-g.com  
 URL:http://www.katsuki-g.com/

健康日和

10

2011 OCTOBER Vol.20

発行/やわたメディカルセンター

石川県小松市八幡イ12番地7 〒923-8551  
 電話(0761)47-1212(代) FAX(0761)47-1941

E-mail:hosp@katsuki-g.com  
 URL:http://www.katsuki-g.com/

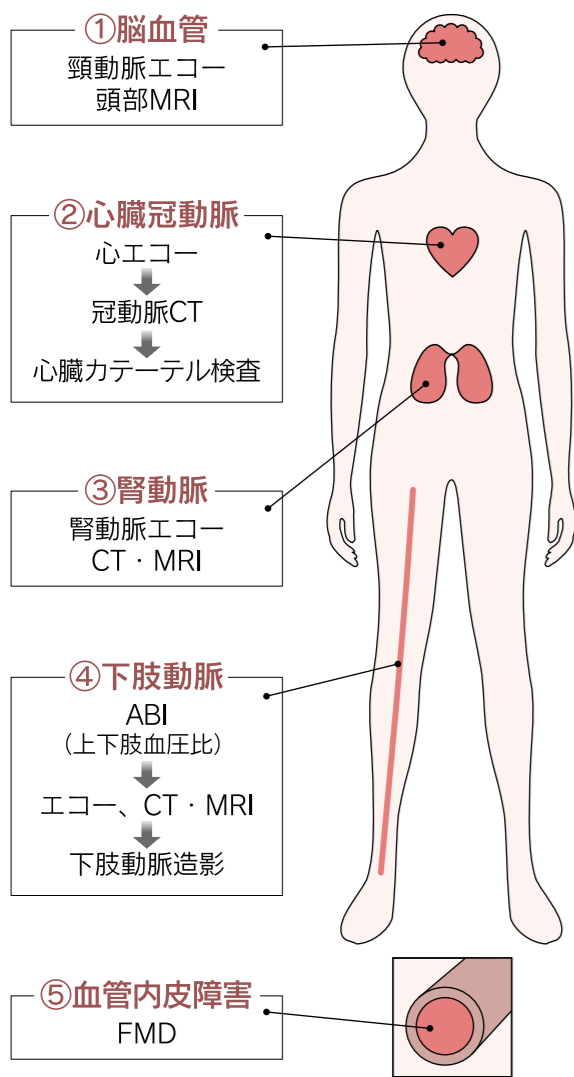
## 循環器疾患の検査 最新機器で 動脈硬化を見逃さない

先日、30歳代のスポーツ選手が「急性心筋梗塞」で命を落とすという悲しい出来事がありました。心臓冠動脈の動脈硬化は命に直結する疾患です。当院では動脈硬化の検査・治療を積極的に行っています。

今年最新式のマルチスライスCT、心臓超音波検査装置、血管造影検査装置を導入しました。

新しい機器とこれまでの機器の違いにも触れながら循環器疾患の検査について御紹介いたします。

**やわたメディカルセンターの血管病変に対する検査の一覧**



### 今月のDr

循環器内科  
八重樫 貴紀(やえがしたかのり) Dr.

無症状で健康体と思われていた方が突如心筋梗塞に襲われる可能性もあります。血管造影検査装置がリニューアルされ、24時間体制での緊急治療が可能です。少しでも「おかしい」「胸が苦しい」と思ったら夜間・休日でも遠慮なく当院へ御連絡下さい。



かかりつけ医と連携!  
24時間態勢で在宅生活をサポート

## 「訪問看護 ステーション ほのぼの」



### 訪問看護(看護・リハビリ)

(看護) <ご自宅での療養生活を支援>

病状観察、医療処置\*を自宅で行い、ご利用者はもちろん介護者の健康管理や相談も行っています。

\*床ずれ処置、尿カテーテル交換、点滴、便コントロール、痰の吸引など

(リハビリ) <「できる」を増やすリハビリテーション>

福祉用具の提案、日常動作の介助・指導、家事動作や趣味活動への支援を行い、利用者様の「できる」ことを増やし、生きがいある生活をサポートします。

退院後、日常動作の確認のために利用される方もいらっしゃいます。

### 療養通所介護 (医療度・介護度が高い方のデイサービス)

<利用時の急変にも即対応>

送迎に看護師が同行し、手厚いケアと医療機関との連携で医療ニーズの高い方\*も安心して、通所していただけます。県内でも2施設しかなく、小松市では唯一の療養通所介護施設です。

\*対象は在宅酸素や呼吸器をつけている方など



当ステーションでは以上のサービスを軸に、介護や医療処置が必要であっても、病院や施設ではなく住み慣れたご自宅で療養生活を継続していきたい方のサポートを行っています。お問い合わせやご相談は右記のとおりです。.....

### 訪問看護ステーションほのぼの

担当: 山口  
〒923-8551 小松市八幡イ12番地7  
TEL: 0761-47-1570 FAX: 0761-47-8101

### [お知らせ]

入院生活のスタートをお手軽に

## 入院セット

当院の入院セットは株式会社エランのものを使用しています。

こんな方にお勧め!

- 外来受診したら、急に入院することになった
- パジャマやタオルを洗濯するのが面倒
- 初めて入院するけど何を揃えればいいのかわからない

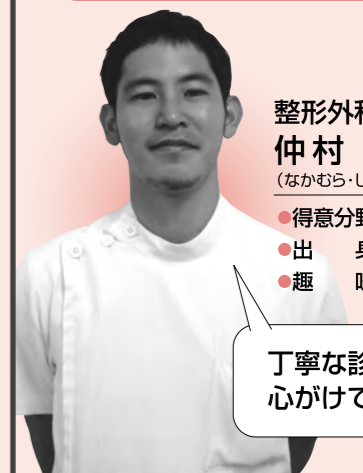
用途に合わせて様々なセットがあります。

お手軽入院セット 2日/1,000円 (入院3日目からは自動的にグリーンセットへ移行)

- セット内容
- 病衣+タオル類 (バスタオル、フェイスタオルなど)
  - 日用品 (歯ブラシセット、カラーコップ、スプーン、スリッパ、袋、ボックスティッシュ、石鹸)
- \*退院時にお持ち帰りいただけます。

入院セットのお問い合わせは入院サービスセンターまで

### 新任医師紹介



整形外科  
仲村 俊介 Dr.  
(なかむら・しゅんすけ)

- 得意分野: 関節外科
- 出身: 沖縄県
- 趣味: サッカー

丁寧な診療を心がけています。

さっぱり白酢和え♪

簡単レシピ

ビタミンAたっぷり皮膚の免疫力を高めます!  
かぼちゃの白酢和え (材料2人分)

材料	分量	作り方
● かぼちゃ	180~200g	1. かぼちゃは1.5cmのさいの目に切り、電子レンジ500Wで4~5分加熱する。豆腐は軽く水気を切る。 2. エビは塩・酢各適量(分量外)を加えた湯で茹でて湯を切る。冷めたら殻を除いて半分に切る。 3. オクラは塩(分量外)をすり込んでさつと茹でて水に取り、水気を切って1cm厚さの小口切りにする。 4. ポウルに調味料を混ぜ合わせ、豆腐をつぶしながら加えて混ぜる。1,2,3を加えて混ぜ合わせる。
● 無頭海老	4尾	
● オクラ	4本	
● 木綿豆腐	1/4丁	
● すりごま	大さじ1	
● 砂糖	大さじ1	
● 酢	大さじ1	
● 塩	少量	

OpenGallery Information

### オープンギャラリー情報

作品展示をご希望の方はやわたメディカルセンターまでご連絡ください。TEL 0761-47-1212 [担当/サービス本部 中村]



10月1日(土)~10月21日(金)  
第一フォトクラブ 写真展

10月22日(土)~11月11日(金)  
三湖書道会  
山本隆泉 書道展

11月12日(土)~12月2日(金)  
西城静子 絵手紙展

## 血流依存性血管拡張反応検査 (FMD検査)

### 血管内皮機能障害を診る FMD検査とは？

狭心症の中には、動脈硬化は強くないものの冠動脈がけいれんを起こすものがあります。夜間から明け方の寒くなる時間帯に胸痛発作を起こすものを「冠攣縮性(かんれんしゆくせい)狭心症」といいます。動脈壁の内皮細胞に障害があると、けいれんが起きやすくとされており、日本人に多く、また喫煙者にも多いとされています。

動脈硬化も、内皮障害の影響が強いと考えられるため、内皮障害を発見できる「FMD(血流依存性血管拡張反応)検査」を導入しています。カフを腕に巻くだけの簡便な検査です。内皮細胞は、内皮障害を来すと、一酸化窒素の放出が減少し血管拡張が小さくなるのでこれを利用した測定法です。

狭心症は、禁煙、食事治療・運動療法、薬物治療や睡眠時無呼吸症候群の治療などにより改善すると考えられていて、当院では治療の効果を確認するために積極的に実施しています。



▲FMD

## 心臓超音波検査 (心エコー検査)

### 「3D画像が動く！」超音波検査

4月に最新の心臓超音波装置を導入しました。この検査は症状に応じて医師が必要と判断した場合に施行します。従来のものと比較して単純に画質が良くなっただけでなく、リアルタイムに3次元で心臓を観察することが可能となりました。そのため、心筋梗塞だけでなく、心臓弁膜症(弁狭窄、弁逆流)及び先天性心疾患(心房・心室中隔欠損症など)のより詳細な評価が可能となりました。そして超音波検査の結果は動画も含めて、施行した当日に外来で電子カルテを見ながら説明できるようにになりました。

その他、心臓以外にも頸動脈、腎動脈、上下肢動脈、静脈を超音波で観察することにより、プラーク(病変)及び血栓の有無の評価を積極的に行っていきます。



## 血管造影検査 (心臓カテーテル検査)

### 低侵襲で行う血管造影 (心臓カテーテル検査、下肢動脈造影検査)

冠動脈狭窄の存在を強く疑う場合には、心カテをお勧めしています。また間歇性跛行(かんけつせいはこう)※1があり、ABI(足関節の血圧と上腕の血圧の比率)※2の低下を認める場合には下肢動脈造影検査を併せて行っています。

造影検査のみであれば入院期間は原則1泊2日、もし冠動脈CTなどで事前に狭窄部位がわかっている場合には引き続きカテーテルによる治療を行うことも可能で、その場合の入院期間は原則2泊3日です。

当院の血管造影の約7割は手首から行います。そのため安静時間が短く身体的負担が少ないというメリットがあります。

また、カテーテル治療の際には血管内超音波を用いて、冠動脈のプラーク(病変)の性状の評価を行うとともに、留置したステントが十分に拡張されているかどうかの評価にも役立っています。

7月にバージョンアップした血管造影検査の機械は、体格によらずほぼ正確な評価が可能となり、被ばく量も軽減されました。

そして、撮影した心臓の動画を電子カルテで見ながら結果をわかりやすく説明できるようになりました。



## CT・MRI

### 心臓疾患に対してのCT・MRI

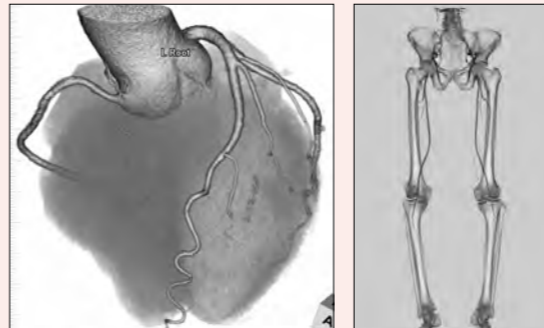
2月に導入した高速マルチスライスCTは最小0.5mmの断面で128スライスを瞬時に撮影することが可能となり、低被ばくを実現するとともに、これまでのCTでは評価が困難であった心臓冠動脈についても詳細に描出することができます。また、心臓カテーテル検査(心カテ)を行う前に、

- ①心カテを行う必要があるかどうかを確認できる
- ②どの部位に狭窄がありどのような状態にあるかを

知ることができるようになります。

といった利点があります。ただし、ヨード造影剤を使用するため、造影剤アレルギーがある方や、腎障害のある方は注意が必要です。

▼CT画像：3D(立体)で見ることができます。



また腎動脈・下肢動脈においてもこのマルチスライスCTを用いることでより正確な動脈狭窄の評価が可能となりました。複数の降圧剤を内服しても血圧が下がらない場合は腎動脈狭窄を来している可能性があり、腎動脈エコーやCTなどの検査が有用です。

また、当院では心不全の原因ならびに重症度を評価するために、心臓MRI検査も積極的に行っていきます。特に心筋梗塞後の心筋障害の程度、心筋症の原因の特定などに有用です。



▲MRI(1.5T)



▲64列マルチスライスCT

※1 歩き疲れると足が痛くなり、少し休むとよくなるが、歩き始めると同様な症状が出る

※2 動脈の内腔が狭くなった状態や弾性が低下すると比率が下がる